



KAWAI 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所 上場取引所 東
 コード番号 7952 URL https://www.kawai.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 河合 健太郎 TEL 053-457-1227
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,766	1.1	1,147	△31.1	1,567	△13.9	919	△23.3
2022年3月期第1四半期	20,547	73.9	1,665	-	1,820	-	1,199	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,120百万円 (18.1%) 2022年3月期第1四半期 1,795百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	106.95	-
2022年3月期第1四半期	139.51	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	69,172	35,035	50.4
2022年3月期	68,391	33,559	48.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,845百万円 2022年3月期 33,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	75.00	75.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	0.00	-	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	43,500	5.0	2,100	△37.1	2,000	△43.5	1,300	△44.5	151.25
通期	89,000	3.8	5,000	△25.3	4,900	△32.9	3,200	△36.6	372.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	9,011,560株	2022年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	416,714株	2022年3月期	416,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	8,594,846株	2022年3月期1Q	8,594,976株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展、医療提供体制の整備、治療薬の確保などの対策がとられる中で感染の一時的な拡大はありながらも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの経済活動抑制策の適用は回避されております。

個人消費は、ウクライナ情勢悪化による資源価格高騰や日米金利差拡大を受けた円安によって物価が上昇しており、消費者マインドの悪化、実質購買力の低下が懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症に対しての行動制限緩和に伴い、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に持ち直しの動きがみられます。

また世界経済は、米国や欧州において経済活動再開の動きは見られますが、資源価格高騰、ウクライナ危機の長期化、中国のゼロコロナ政策による主要都市のロックダウンの影響などにより、先行きは不透明となっています。

このような経営環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Resonate 2024」（2023年3月期から2025年3月期）を策定し、2027年に迎える『創立100周年』とさらにその先の継続的な発展に向け、KAWAIブランドの更なる社会的浸透と、持続的かつ堅実な成長を実現するために日々邁進しております。

こうした中で、6月に宮城県仙台市で開催された『第8回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門』において、予選からファイナルまで一貫して当社Shigeru Kawaiフルコンサートピアノ『SK-EX』を使用したルウォ・ジャチン氏（中国）が優勝、またファイナリスト6名全員が『SK-EX』を使用するという当社として喜ばしいトピックがありました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 20,766百万円（前年同期比 219百万円増）、為替影響や海上輸送費、材料費の高騰などにより営業利益につきましては 1,147百万円（前年同期比 517百万円減益）となり、経常利益は 1,567百万円（前年同期比 253百万円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 919百万円（前年同期比 279百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。そのため、前年同期比較については、前第1四半期連結累計期間の数値を当該変更後の数値で比較しております。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、『Shigeru Kawai』をはじめとする鍵盤楽器の販売において前期に引き続き世界各地で好調に推移いたしました。また音楽教室や体育教室においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める中、春の生徒募集やイベント開催などに取り組みました。これらの結果、売上高は 17,485百万円（前年同期比 940百万円増）となり、為替影響や海上輸送費、材料費の高騰などにより営業利益は 791百万円（前年同期比 466百万円減益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、供給先の生産調整により半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどもあり、売上高は 2,625百万円（前年同期比 46百万円減）となり、営業利益は 361百万円（前年同期比 64百万円減益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受注減少などにより、売上高は 655百万円（前年同期比 675百万円減）となり、営業損失は2百万円（前年同期 営業損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、棚卸資産の増加などにより 69,172百万円（前期末比 781百万円増）となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少などにより 34,137百万円（前期末比 694百万円減）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益などにより 35,035百万円（前期末比 1,475百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました内容から変更はありません。
なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する
様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,659	23,128
受取手形及び売掛金	9,485	7,846
商品及び製品	6,483	7,215
仕掛品	1,738	1,868
原材料及び貯蔵品	4,157	4,855
その他	2,068	2,507
貸倒引当金	△157	△162
流動資産合計	46,436	47,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,107	4,092
機械装置及び運搬具(純額)	1,779	1,745
土地	6,354	6,369
その他(純額)	1,090	1,067
有形固定資産合計	13,331	13,275
無形固定資産	636	599
投資その他の資産		
投資有価証券	5,313	5,529
繰延税金資産	1,235	1,087
その他	1,589	1,583
貸倒引当金	△152	△161
投資その他の資産合計	7,986	8,039
固定資産合計	21,955	21,914
資産合計	68,391	69,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,717	5,823
短期借入金	5,895	5,700
未払法人税等	1,770	882
賞与引当金	968	375
製品保証引当金	171	173
その他	6,050	6,917
流動負債合計	20,572	19,873
固定負債		
長期借入金	4,396	4,225
環境対策引当金	5	3
退職給付に係る負債	8,829	8,989
資産除去債務	594	595
その他	432	450
固定負債合計	14,259	14,264
負債合計	34,831	34,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	24,895	25,170
自己株式	△964	△964
株主資本合計	32,311	32,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	539
為替換算調整勘定	876	1,890
退職給付に係る調整累計額	△165	△170
その他の包括利益累計額合計	1,072	2,259
非支配株主持分	174	189
純資産合計	33,559	35,035
負債純資産合計	68,391	69,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	20,547	20,766
売上原価	14,935	15,282
売上総利益	5,611	5,484
販売費及び一般管理費	3,946	4,336
営業利益	1,665	1,147
営業外収益		
受取利息	12	19
受取配当金	37	44
固定資産賃貸料	10	11
為替差益	102	374
その他	35	11
営業外収益合計	199	462
営業外費用		
支払利息	20	20
寄付金	12	10
その他	11	11
営業外費用合計	43	42
経常利益	1,820	1,567
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	25	—
特別利益合計	25	0
特別損失		
固定資産除却損	6	19
特別損失合計	6	19
税金等調整前四半期純利益	1,839	1,547
法人税等	629	625
四半期純利益	1,209	922
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,199	919

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,209	922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	177
為替換算調整勘定	789	1,031
退職給付に係る調整額	△0	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△6
その他の包括利益合計	586	1,198
四半期包括利益	1,795	2,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,777	2,105
非支配株主に係る四半期包括利益	17	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,544	2,671	19,216	1,330	20,547	—	20,547
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	0	99	99	△99	—
計	16,545	2,672	19,217	1,429	20,647	△99	20,547
セグメント利益 又は損失(△)	1,258	425	1,684	△6	1,677	△11	1,665

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△11百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,485	2,625	20,110	655	20,766	—	20,766
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	2	3	28	32	△32	—
計	17,486	2,627	20,114	684	20,798	△32	20,766
セグメント利益 又は損失(△)	791	361	1,153	△2	1,150	△3	1,147

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、これらの変更を反映し作成したものを開示しております。